

日本共産党 たかせ菜穂子の菜の花便り

2014年9・10月号 (小倉南区後援会ニュース)

<連絡先> たかせ菜穂子事務所 TEL 965-0270 FAX 965-0271

Eメール takasenhoko@live.jp 携帯 090-1196-5408

ブログ <http://nanohana-dayori.sblo.jp/> ツイッター フェイスブックもよろしく



<<無料・生活法律相談>>

- 9月10日(水) 湯川市民センター
小倉南生涯学習センター
- 9月17日(水) ふじさわ加代事務所
- 9月24日(水) 湯川市民センター
- 9月25日(水) たかせ菜穂子事務所
- 10月1日(水) 徳力団地集会所

川内原発の再稼働ストップ!



川内原発の地元、薩摩川内市で開かれた集会には1800人が参加。商店街をパレードする5人の県議予定候補

原子力規制委 審査書「適合」決定

原子力規制委員会は、九州電力川内原発一・二号機について、再稼働の前提となる規制基準に「適合」とする審査書を決定しました。「火山対策、汚染水対策、防止策がない」「避難計画が審査対象になっていない」など、1万8000にのぼる公衆意見に背を向け、命と安全を置き去りにして再稼働に走ろうとしています。

しかし、地元薩摩川内市のアンケートでは、85%が再稼働に反対しています。8月31日に行われた川内集会には1800人が参加。車の中からの声援、「勇気をもらった」との感

想もいただき、連帯してがんばることの大切さを実感しました。

審査の終了には、工事計画認可などの手続きが必要で、さらに、地元説明会、当該県と市の同意も必要です。たまたかいは続きます。川内原発を再稼働の突破口にさせない! 全国と連帯し、九州から声をあげましょう。

原発を止めているのは、私たち一人一人の声です。9月28日には、鹿児島市内で集会をもちます。多数のご参加を呼びかけます。

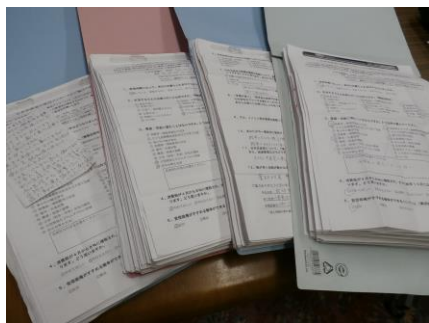
第33回 震災救援バザー

とき 9月16日(火)
14:00~15:00
ところ 徳力団地集会所



8月の収益は、11930円でした。6月から8月の合計54377円から、福島県にお茶と飾りリースを送りました。その後起こった広島土砂災害に14353円を送らせていただきました。9月は上記日程で、ご協力よろしくお願ひします。野菜、おこね、おはぎ、せんべい、準備しています。

県政アンケートに返信700通 くらしの不安、戦争止めての声びっしり



前回の2倍を超える700通の返信アンケート

7月から取り組んでいる「県政アンケート」の返信が、前回4年前の2倍を超えて寄せられています。「年金は減ったのに、物価は上がり、保険料が上がって、その上消費税。この先どうなるか不安」「戦争だけはやめてほしい」など切実な声びっしりです。

「安定した正規の職を増やして」「子育てにお金がかかりすぎる」「道路の凸凹直して」など、若い世代からの声、地域の要望もいただきました。

「共産党がんばれ」の激励に元気をもらっています。

◆第二次安倍内閣が発足。とんでもない新閣僚である。「新基地建設を進める」「官房長官」「消費税増税」「(麻生財務相)」「原発再稼働宣言、汚染水コントロール」されている(小淵経産相)、「年金積立金ベンチャー投資」(塩崎厚労相)・・・高市総務相ネオナチ代表と写真。亡国政治加速の布陣。一刻も早く退陣していただく以外にない。

◆沖縄地方選挙で日本共産党躍進、特に注目の名護市議選で、トップ当選し、「新基地建設やめよ」の民意を示した。県知事選挙に向けて、翁長雄志那覇市長が「オール沖縄」の声を受け出馬表明。熱いたたかいがつづく。

◆早稲田大学の守中高明教授が「今、大事なことは怒りの表明。怒りとは、命がけの感情、ありうる虚無主義を乗り越える唯一の深く倫理的な感情」と書かれていて感動した。政治への怒りは、倫理感に支えられたもの。今こそ、大いに怒り、それを束ねることに!

報告

佐賀空港にオスプレイいない



佐賀空港前で

佐賀県に対して、国が要請しているのは、陸上自衛隊の水陸機動団に配備予定のオスプレイの部隊が使用する駐機場等を佐賀空港に隣接する場所に整備し、離着陸時には佐賀空港の滑走路を使用するというものです。合わせて、陸上自衛隊目達原駐屯地（佐賀県神埼郡吉野ヶ里町）のヘリコプターも佐賀空港へ移駐させるというものです。配備の規模はオスプレイ 17 機、目達原のヘリコプター50機、隊員は、700人から800人規模。これは、木更津駐屯地（千葉県木更津市）と並んで、全国最大規模となります。演習は、演習場等で行うとあり、「等」の中に、背振山系が含まれることを否定していません

自衛隊は、佐世保の相浦、大分・熊本の日出生台演習場など、九州各地 50 か所を低空飛行地域としています。この 50 か所の中には、小倉北区の富野、小倉南区北方、曾根周辺が含まれています。オスプレイは、防衛のためでなく、他国の攻撃に使うもの。しかも、事故続出で「未亡人製造機」と呼ばれています。北部九州が、まさに集団的自衛権行使の最前線におかれようとしています。



滑走路の向こうは有明海。ノリ養殖の竿が立ち並び、手入れをする漁民の小船もたくさん見えます。



見渡す限りの平野。バルーンがよく見える方向。管制塔の向こうの農地をオスプレイの駐機場として購入予定。

要請

土砂災害危険区域17551ヶ所の対策を

整備率8% 小倉南区の危険区域321ヶ所

この夏、広島での土砂災害が多くの犠牲者をうみました。たかせ予定候補は、福岡県でも、土砂災害危険区域が数多く存在しているのに、整備が進んでいないことを、かねてから指摘し、大型開発ではなく、命と安全を守る公共事業を行うよう求めてきました。

9月11日、改めて、この問題について、レクチャーを受け、現在の到達、今後の計画について聞きました。

土砂災害危険箇所は、全国52万といわれています。その中の危険区域を指定する作業が大変遅れており、九州全体で4割が未指定です。そんな中、福岡県は、急ピッチで作業を行い、1万7551ヶ所を指定、100%を達成しています。これは、災害のたびに、指定作業と整備を行うよう、繰り返し求めてきた日本共産党の要求が実ったものです。

しかし、指定された17551ヶ所の危険区域のうち、整備済は、1385ヶ所、整備率は8%にとどまっています。危険区域のランク付けは難しく、雨量によっては、



福岡県県土整備部からレクチャーを受け、要請を行う県議予定候補

どこも大災害の可能性があります。

小倉南区の危険区域は、321ヶ所。以前の大雨で、家がうずまり、山肌の崩壊を防ぐ大規模工事を行わせたことがあります。また、三谷方面を土石流が襲ったこともありました。

情報の共有と、住民合意で、安全対策を急ぐ必要があります。危険箇所指定作業で増やした人員、予算が今年度削られています。今後、整備が進むよう、県に対して予算要望を行っていきます。